

部局名	消防本部			所属名	消防総務課			所属長名	北條 幸夫			電 話	459-7802		
-----	------	--	--	-----	-------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3366		事務事業名称	消防団運営管理事業							短縮コード	経常	3366	臨時	3548																			
予算区分	会計	01	一般会計		款	09	消防費		項	01	消防費		目	02	非常備消防費																			
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法及び消防法（消防団活動費）， 八千代市消防団条例																											
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																																		
消防団活動に係る事務 ・消防団発足時から。																																		
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画 の 施策 体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして																										
近年，消防団員のサラリーマン化が進み，また勤務先が市内ではないことから，入団してくる人材が集まりにくくなってきている。						大項目（節）	02	第2節市民の安全																										
						中 項 目	02	2. 消防																										
						小項目（施策）	02	(2)消防体制の充実																										
						細 項 目	05	⑤消防団の活性化																										
						実 施 計 画 の 計 画 事 業																												
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～				計 画 事 業 費		千円																					

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市消防団														
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 1. 消防団活動の中核を担っている消防団員を対象に千葉県消防学校において研修を実施 2. 消火活動に必要な基本動作を学ぶための操法訓練・年間を通じて車両操作訓練・年度当初に入団した消防団員に対する教育訓練・女性団員が行う応急手当普及啓発活動による訓練指導を実施。 3. 消防無線のデジタル化に伴い第3級特殊無線技士講習会に参加。														
	※平成25年度に計画していること： 平成24年度と同様の研修・教育訓練（上記No.1. 2）を実施。														
意図 （何を狙っているのか）	①消防団の活性化及び組織力の充実強化 ②専門知識及び技術取得による個人能力の向上														
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外														
区 分						単位	2 3 年度		2 4 年度		2 5 年度				
							実績		計画	実績	計画				
対象指標	指標 1	消防団員数				人	288		309	296	309				
	指標 2														
	指標 3														
活動指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の実施日数				日	2		2	2	4				
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練を実施した日数				日	29		61	68	76				
	指標 3														
成果指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の参加人数				人	1		1	1	2				
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練に参加した団員数				人	1,129		1,486	1,455	1,436				
	指標 3														
上位成果指標	指標 1														
	指標 2														
	指標 3														

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業				所属名	消防総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			引き続き、消防団員への訓練・研修等を行う事で充実強化に努めるとともに、男女を問わず消防団活動への参加を促進することにより、引き続き消防団活動の活性化を図っていきます。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後も消防団員の各種訓練・研修を積極的に実施し、消防団活動の充実強化を図ることが不可欠であるが、成果としては不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
消防団は消防職員同様，訓練・研修が不可欠である。									

所属長コメント	地域の消防防災の中核である消防団は，社会経済情勢の変化を受けて，サラリーマン団員の増加など対応すべき課題を抱えているが，消火活動をはじめ多数の要因を必要とする災害活動，また，大規模災害での救出活動や搜索活動，避難誘導などの面でも重要な役割を果たしており，身近な暮らしの安全確保を図っていく上で，大量動員が可能な消防団は，非常に大きな力として欠かせない組織であり，充実強化を図っていく必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									